

『見つけ考え実行するピア・サポート』

藤枝市立広幡小学校

月別	ピア・サポート活動 ピア・サポートを中心に据えた行事	プログラム	職員研修
4月	一年生交流会	仲間づくりステージめあて設定 人間関係作りプログラム実施 (出会い)	ピア・サポート 活動共通理解
5月	運動会	運動会スローガンの設定 仲間づくりステージ振り返り	
6月	挑戦ステージ式（ピア・サポートの紹介） ペア活動	挑戦ステージめあて設定 人間関係作りプログラム実施 (聴き方)	
7月			
8月		人間関係作りプログラム実施 (自己表現)	
9月	ペア活動	挑戦ステージ振り返り	
10月	かがやきステージ式（ピア・サポートの紹介）	かがやきステージめあて設定	
11月	音楽会 ペア活動		
12月	ペア活動	かがやきステージ振り返り	
1月	飛躍ステージ式（ピア・サポートの紹介）	飛躍ステージめあて設定 人間関係作りプログラム実施 (気持ちの対処・対応)	教育課程検討会 にて話し合い
2月	ペア活動 はばたきの会（6年生を送る会）	ペアへのお礼	
3月	代表委員会（ピア・サポートの成果と課題）	飛躍ステージ振り返り ピア・サポートの振り返りまとめ	ピア・サポート活 動振り返り

1 本校のピア・サポート

本校の重点目標は、「見つけ 考え 実行する」である。自分や友達のピア・サポートを「よさ」という合言葉にし、たくさんの「よさ」を見つけ、それを広めていこうと子どもたちに意識させている。また児童会も、年間を通してピア・サポートを推進している。行事等では、ピア・サポートを念頭に置き、各クラスで見られたピア・サポートを紹介する活動も行っている。

2 本年度の取組

(1) 授業において

①広小スタンダード＜提言 1, 5＞

本校には、「広小スタンダード」というものがあり、黒板の周りには掲示物を貼らないようにしたり、学習課題や学習問題を囲むチョークの色を統一したりしている。その一環で、子どもたちにも、聴く・話す指導をしている。「相手を思っで聴く」「分かりやすく話す」ためには、どう子どもたちに指導すればいいのか、職員で共通理解を図っている。

(2) 特徴的な活動

①一年生交流会＜提言 1＞

今年度も昨年度と同様に、全校揃っての「一年生を迎える会」を行わず、各学年が一年生にどんなことができるか考え、実際に遊んだり読み聞かせをしたりする交流会を行った。より近い距離で1年生と関わり合い、お互いに充実した活動になった。

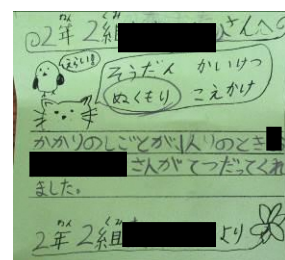
②児童会による広小ピアサポ万博2025＜提言 3, 6, 7＞

9月からの1か月を「広小ピアサポ万博2025」と題し、友達のピア・サポートをたくさん見つけ、紹介する期間を設定した。より良いピア・サポートをした子と見つけた子を全校の前で表彰し、価値づけを行った。その企画に伴い、全校にピア・サポートを根付かせるきっかけとなるよう、児童会で「ヒロヒロ」と名付けたキャラクターを設定した。キャンペーンで広まった質の高いピア・サポートを一過性のものにしないように、子どもたちのピア・サポートの「アイコン」として定着させていきたい。



③ピア・サポートカードの記入と紹介＜提言 3, 6＞

クラスで見られたピア・サポートを、ピア・サポートカードに記入してもらい、それを昼の放送で紹介し、価値づけていった。また、より質の高いピア・サポートが広まるよう、児童会で内容を精選した。また、ステージ集会では、学年の代表児童がより良いピア・サポートを発表し、全校の前で価値づけを行った。



3 本年度の成果と来年度に向けて

子どもたちの中にピア・サポートの定着が見られ、ピア・サポートの精神を広めることができた。運動会やペア活動等の行事では、上級生と下級生の関わりが生まれ、学級や学年の垣根を越えてのピア・サポートも多く見られた。

3月に、ピア・サポートをテーマにした代表委員会を開く予定である。1年間の成果と課題を共有し、来年度の課題について考え、ピア・サポートを意識できる活動を検討していきたい。特に、「実行する」という所に重点を置き、ピア・サポート溢れる学校づくりをしていきたい。